



わかった
かな？



令和5年12月8日、阿波市立土成小学校へ出前教室に行ってきました。
土成小学校は、吉野川の北岸、県中部の阿波市に位置し、徳島市内から車で約40分のところにあります。

今回の出前教室では、小学6年生31名に対し、検察広報官が「社会における検察庁の役割や社会のルール」などについて説明したほか、持参した手錠にも触れてもらいました。

生徒の皆さんは、話を真剣に聞いてくれ、手錠には目を輝かせて興味津々の様子でした。
土成小学校の6年生、先生方、貴重な授業の1コマを法教育の場に提供していただき、本当にありがとうございました。

また、たくさんの感想をいただきありがとうございました！（検察広報官）

生徒の皆さんからの感想（抜粋）

- ・ 検察庁の人達と警察の人達は、役割が全然違うし、協力して事件を解決しているということがよくわかりました。
- ・ ニュースなどで「被疑者」とか「被告人」、「書類送検」とかの意味がよく分からなかったけど、今回それぞれの意味が分かったので、ニュースとかもちゃんと理解して見れるようになるなと思いました。
- ・ 検察官という仕事はあまり知らない仕事だったので、とてもわかりやすく説明してくださってありがとうございました。



感想をくれて
どうも
ありがとう！

